2020年５月15日

各　　位

会 社 名　　株式会社　池田泉州ホールディングス
代表者名　　取締役社長兼CEO　鵜　川　　淳
（コード番号　８７１４　　東証第１部）
問合せ先　　執行役員企画総務部長　塚　越　　治
（ＴＥＬ　　０６－４８０２－００１３）

経営ビジョン『Vision’25』の策定について

池田泉州銀行を中核とする池田泉州ホールディングスグループ（以下、「当社グループ」という）は、2025年に向けた経営ビジョンとして、『Vision’25』を策定しましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1.　策定の経緯

当社は2009年10月に設立以来、経営理念に基づき、地域の皆さまに愛される金融グループを目指して、様々な取り組みを進めてまいりました。そして、本年５月には、傘下の池田泉州銀行が合併して10年という節目を迎えました。

また、2025年に大阪・関西万博が開催されるなど、さらなる飛躍が地元大阪では期待されています。

地域が一丸となって、「いのち輝く未来社会のデザイン」づくりに集中していく2025年に焦点を当て、当社グループは、新しい時代の大阪・関西のお役に立ち、次の10年においても、皆さまから愛される金融グループであるために、旗印としての『Vision’25』を策定することといたしました。

現在進めております第４次中期経営計画は、体質強化中計と位置づけて、マイナス金利の深掘りや競争の激化など、厳しさを増す環境への対応と安定した収益基盤の確立を狙いとして取り組んでおり、本年度が最終年度となります。

足元では、新型コロナウィルスの感染拡大により、社会や経済は困難な状況にあり、当面はこの対策に全力を挙げてまいりますが、合併10年の節目に当たり、2025年に向けた経営ビジョンを掲げて、店舗・チャネル体制のさらなる変革や経営資源の適正配分、戦略的な人材強化策から着手し、生産性の革新を図ります。

尚、第５次中期経営計画は今年度から策定作業に入り、このビジョンを達成していくための具体的な戦略、施策及び収益計画等を具体化してまいります。

2.　『Vision’25』の概要

コンセプト

徹底したソリューションで地域の皆さまのお役に立ち、自らのポテンシャルを引き上げていくことで、誰もが安心して輝けるような未来社会づくりに貢献します。

基本方針

1．お客さまのさまざまな課題を知り、お客さまの視点に立って、最適なソリューションを的確にご提供します
2．お客さまの信頼にお応えすることで、やりがいを感じ自らも成長し、職員が多様な活躍が出来る職場を創ります
3．事業活動を通じて、地域社会の持続的な発展と地域の皆さまの安心で豊かな暮らしづくりに貢献します

以 上

池田泉州ホールディングス

経営ビジョン『Vision’25』の策定について

2020年5月15日

1． Vision’25の位置づけ

・第4次中期経営計画における、B/S　P/L問題解決
・2020年5月合併10周年

⇒　次の10年を睨み、
2025年大阪・関西の飛躍の年に向けて
当社グループのありたい姿として
『Vision’25』を策定

2030
SDGs

2025
大阪・関西万博

将来の社会課題、お客さまのニーズ

Vision’25

2020年5月
合併　10周年

第３の矢

済　第１の矢　B/S問題の解決
済　第２の矢　P/L問題の解決

2018　**2020**　**2021**

第４次　中期経営計画
第５次　中期経営計画

２．当社グループの経営理念

経営理念

「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、
お客様のニーズに合ったサービスを提供し、
地域の皆様に「愛される」金融グループを目指します。

ミッション

～地域のお客様の課題を解決し、その成長のお役に立つために、真に「お客様のニーズに合ったサービスを提供する」ことが当社グループの責務

バリュー

～そのためには、自前だけでなく、「幅広いご縁」を活かしてオープンな連携を図り、「進取の精神」により、世の中の新しい動きに目を凝らすことで、よりよいものを取り入れていくことが、当社グループの組織共通の価値感

ビジョン

～これらを通じて、地域のお客様やそのご家族・ご友人、お取引様などから、信用され、頼りにされる存在、すなわち「地域の皆様に愛される金融グループ」になっていくことが、当社グループの将来ありたい姿

３．ビジョン

Vision’25

**徹底したソリューションで地域の皆さまのお役に立ち、
自らのポテンシャルを引き上げていくことで、
誰もが安心して輝けるような未来社会づくりに貢献します。**

基本方針

1．お客さまのさまざまな課題を知り、お客さまの視点に立って、最適なソリューションを的確にご提供します

2．お客さまの信頼にお応えすることで、やりがいを感じ自らも成長し、職員が多様な活躍が出来る職場を創ります

3．事業活動を通じて、地域社会の持続的な発展と地域の皆さまの安心で豊かな暮らしづくりに貢献します

４． 将来の社会課題・お客さまニーズと徹底したソリューションビジネス

将来の社会課題、お客さまニーズ

個人
- 高齢化の進展、認知症への備え
- 少子化、人口減少、格差拡大
- 資産寿命の延伸、人生の充実
- 富裕層ファミリーの繁栄

法人
- 経営者高齢化、大廃業時代
- 新しい技術・サービスの創出
- 急速なビジネスのデジタル化への対応
- アジアゲートとしてのグローバル化

地域
- 万博/IRを中心とした地域の活性化
- 深刻な人手不足、外国人就労一般化
- データエコノミー社会の到来
- SDGsに向けた取り組み加速
- 環境、気候変動問題がビジネスに直結
- Afterコロナのニューノーマルへの対応

お客さま起点CX※

お客さま本位の
業務運営

**徹底した
ソリューション**

事業性評価

SDGs

ポテンシャルB/S

アドバンテージ

恵まれた地盤
企業数、富裕層

**万博、IR
うめきた2期**

サービス・商品
雇用、事業承継・M＆A
池田泉州TT証券
自然総研
池田泉州キャピタル

アライアンス

**オープンな連携
脱自前
産学官**

リソース

**多様な人材
少数精鋭
戦略パートナー**

※Customer Experience:顧客体験価値

中小企業	人材紹介、M&A・事業承継、事業計画策定、海外ビジネスサポート…
ベンチャー	助成金、イノベーションファンド、販路拡大サポート・・・
個人	ライフプランコンサル、ウェルスマネジメント、高齢者生活サポート・・・

ＫＰＩ	ソリューション件数* 2019年度 4,000件 ⇒ 2025年度 10,000件

*取組ベース

5． Vision’25を支える体制整備（１）

人員の自然減により、５年先に1,800名体制＊となることを見据えて、店舗・チャネル体制の再構築や重点戦略への経営資源の適正配分を実施

① 店舗・チャネル体制

現在	
人員 2,350名	
統括店	29
独立店	32
出張所	1
リテール	41
パーソナル	14
ＡＴＭ	

61エリア

2025年
人員 1,800名
フルバンキング
個人向け
法人向け
情報発信拠点
タブレット拠点（セルフ・少人数拠点）
ＡＴＭ
デジタルチャネル（HP・スマホアプリ）
デジタルバンク（次世代型銀行）

61エリア

[ソリューション営業]
・中小企業、富裕層集積エリアに有人店舗を配置し、相談・推進業務を展開

[銀行業務のデジタル化]
【タブレット化】
・窓口業務の80%をタブレット化
店舗以外の場所でも取引可能に
・従来型店舗の一部をタブレット拠点に置き換え
⇒拠点網の維持と効率化を実現

【デジタルチャネル拡充】
・非対面取引による利便性を向上

[銀行自身のデジタル化]
・高度にデータを活用した新収益源の獲得
・顧客利便を更に重視した商品、サービスの提供

＊銀行本体人員

5．Vision’25を支える体制整備（２）

② 資源の適正配分	③ 人材戦略

・2025年の人員数・人員構成の推計 ～将来の戦力確保の見通しを把握

・重点戦略の選定
～お客さまニーズの徹底分析による戦略選定
～地域のSDGs達成に向けた戦略選定
～ニューノーマルを見据えた戦略策定
～各戦略のコスト・収益対比等による戦略選定

・資源配分計画の策定

・重点戦略に応じた計画的人材育成の実施
～Vision’25で求められる人材の計画的な育成

・人事制度等の見直し
～職員の働きがいの向上
多様な働き方・柔軟な働き方
～専門・プロ人材の処遇、職能度に応じた処遇

・重点戦略を確実に実行するためのロードマップの策定
・経営資源（ヒト・モノ・カネ）の積極投入

お客さま視点に立った
最適なソリューションのご提供

やりがいを感じ自らも成長することで
多様な活躍が出来る職場の実現

地域社会の持続的な発展と地域の皆さまの安心で豊かな暮らしづくりに貢献

終